

帯広開発建設部

Web 広報誌 第44号

令和6年1月4日発行



トカプ千通信

十勝川を学ぼう！



十勝を代表する
大きくて長い川ですよね♪

“十勝川”のことを学んでいこう。
何か知っていることはあるかな？



そうそう！**156km**もあるんだよ。
その十勝川なんだが今年、
治水100年を迎えたんだ。

ちなみに、治水（ちすい）は
水の流れを治めると書くよ。

水害が起こらないように
川を工事して整えることなんだ。



なるほど！水害を防ぐために
治水をしているんですね♪
水害を防ぐために、実際には
どのような工事をしてきたの
ですか？

簡単にいうと、川の形が曲がりく
ねったものをまっすぐに整えたり、
堤防を整備して川の水が溢れない
ようにしているんだ。



ほうほう。どうやって十勝川
が整備されてきたのか気にな
ってきました！

よし。それでは十勝川の昔から今に
至るまでの流れを見ていこう！



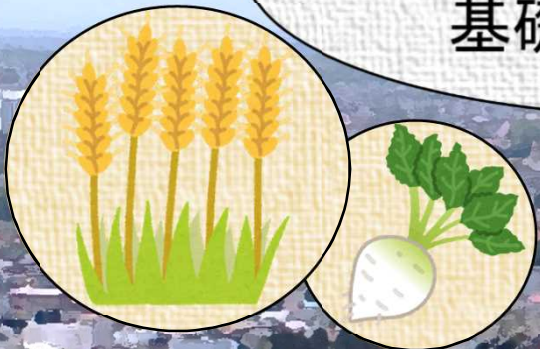
十勝川は、約70万年前、日高山脈や石狩山地が上昇して**石**を下流に流し続け、湿原だった十勝平野を埋め尽くし**扇状地**が作られ、**太平洋につながる**ことで誕生したよ！
もっと詳しく学んでいこう！



舟で移動していたよ🚢

十勝川は「**重要な交通手段**」
しかし、思い切った治水事業が行われず、「**水害**」との戦い

農業王国十勝の
基礎になった！



大正11年に死者を出す大洪水を受け、「**十勝川治水事務所**」が設立
「斉藤 静脩(さいとう せいしゅう)」
を筆頭に治水事業に取り組んだ

昭和初期からは、水害を防ぐために
「**新水路の整備**」や「**川の切り替え**」を行った

「**流域治水**」とは、河川管理者
だけではなく、**流域に関わる
みんなで治水対策**を行おう
という取り組みだよ！



現在は、気候変動の影響や
社会状況の変化を踏まえ、
「**流域治水**」にシフト

地域の取り組みでは、昭和48年から
「**十勝川イカダ下り**」を開催
令和5年は、50周年🎉

ワシクルーズ
なども行っているよ



とてもよくわかりました♪
今、私たちが安全に生活できているのは、
先人達の努力のおかげですね！



十勝川治水 100年 記念イベントに

密着〇〇



開催日：令和5年10月21日(土)

開催場所：帯広市総合体育館「よつ葉アリーナ十勝」

記念碑除幕式📷



記念碑



記念式典🌸

✦式辞✦

先人達の努力の積み重ねによって、十勝は国を代表する食糧供給基地となりました。しかし、災害は激甚化しており、気候変動の影響を考慮した治水計画の見直しを行ったところです。十勝川流域の安心・安全の確保、事前防災対策に加え、流域治水と連携し、推進していきます。

(井田帯広開発建設部長)

十勝川治水100年 記念式典



井田部長

✦十勝川治水事業報告✦

十勝川は、水の恵みによって人々の生活を支えてきました。引き続き、洪水に強い、安全・安心な川づくりを行い、十勝の強みである食と観光を担う生産空間を支え、食糧供給基地としての持続的発展、世界水準の観光地の形成のため、施策を推進していきます。

(帯広河川事務所 久保事務所長)

久保所長

治水と農業は
密接につながって
いますね♪



十勝川治水100年記念シンポジウム



パネルディスカッション ～十勝川を次世代に引き継ぐために～

・十勝管内の教育機関では

①川遊び

②ハザードマップと照らし合わせた大きな地図の上に乗って
防災の大切さやなぜ水害が起こってしまうのかを学習

③高齢者の立場に立って危険な場所を確認しながら
実際の避難経路を歩いてみる

など「防災学習」が多く行われている

・札内川懇談会では、川の利活用（トレッキングなど）や帯広農業高校や帯広工業高校と共に、
十勝川の環境をよりよくするためのワークショップを開くなどの取組を通して地域活性化
につながる活動を行っている

◎若い世代に色々な体験をしてもらい、川とふれあうことで
十勝川を学び、防災意識の向上につながる！



パネリスト紹介は
[こちら](#)をクリック！



パネル展示の様子

（補足）

行政と民間及び地域住民
の方々に「協力」して
十勝川を守り、そして
次世代に引き継いでいく
ことが大切！



十勝川治水について
詳しく知りたい方は
クリック！



参加した職員にインタビュー

～十勝川治水100年を迎えて～

先人達の100年にわたり治水事業に取り組んできた努力に思いを馳せると同時に、現役職員として地域住民の命を守るため、100年先を見越して「長期視点」で事業に取り組まなければならないと思いました。

また、治水事業は農業にも良い影響を与え、「利水」の面でも重要であることを再認識しました。



総務課 村上課長補佐

～シンポジウムに参加して～

川にふれることで、川の学習にもつながるというお話を聞いて、私も小学校の頃、課外授業で近くの川で遊んでいたことを思い出しました。川は、もちろん危険な面もありますが、川があるからこそできるイベントもあり、危険で怖いだけではありません。

十勝川がみなさんの身近な存在であり続けるために、開発局職員として、また十勝に住む一市民として何ができるのか改めて考えるきっかけになりました。



経理課 関課員

11月10日は無電柱化の日！

・・・というわけで無電柱化事業について紹介します♪

無電柱化事業ってどんな事業？

無電柱化事業とは、道路の地下空間を活用して電力線や通信線などをまとめて収容する電線共同溝などの整備による**電線類地中化**や、表通りからみえないように配線する**裏配線**などにより道路から電柱をなくすことです。日本では、昭和60年代初頭から整備が進められています。

ちなみに・・・どうして11月10日が無電柱化の日なのかというと、「**1**」を並ぶ電柱に見立てて、**その電柱を「0」にする**という意味を込めて無電柱化の日となりました！



十勝管内でも無電柱化事業が行われています！

現在十勝管内では、国道241号音更町木野大通6丁目交差点から十勝大橋までの区間において、平成29年度から継続的に事業を実施しています！

また、令和3年度から8丁目交差点から6丁目交差点までの区間においても、調査・設計を実施しているところです。

国道241号 事業箇所



出典：地理院地図

国道241号 音更電線共同溝



無電柱化を進めるとメリットがたくさん！

・道路の防災性の向上

台風や地震などの災害時に、**電柱が倒れたり、電線が垂れ下がるといった危険がなくなります。**また、倒れた電柱に道をふさがれることがないため、災害時の**緊急車両の通行もスムーズになります。**

・安全で快適な通行空間の形成

電柱をなくすことにより、ベビーカーを使用する方や車いすの方など**幅広い人たちにとって安全で利用しやすい道路になります。**

・良好な景観を形成

地上にはりめぐらされた電線類が地中化などにより見えなくなるため、**美しい街並みが形成されます。**

・情報通信ネットワークの信頼性を向上

電線類の地中化を進めることによって、災害時に情報通信回線の被害を軽減させることに繋がり、**ネットワークの安全性・信頼性を向上させます。**

～担当した職員にインタビュー～

帯広道路事務所 斉藤 直之さん

Q 無電柱化事業を対応するにあたって一番苦労した部分と無電柱化事業のアピールポイントを教えてください。

A. この事業は街中で工事が行われており、狭い空間での作業が多いことが大変でした。建物が近接しており、地下には水道管などの占用物件が埋設されているので、周囲の建物や地下の占用物件を傷つけないように細心の注意を払って作業を進めています。

私はこの箇所を通過して通勤していますが、工事が終わったところはすっきりしていて気持ちがいいですね。無電柱化を進めることで電柱が倒れる危険がなくなりますし、景色も綺麗になることがアピールポイントです。





広尾道路事務所ってどんなところ？

広尾道路事務所は国道2路線160kmの維持、管理を担当している帯広開発建設部にある三つの道路事務所のひとつです。夏も冬も気象に影響を受けやすい十勝地方の南に位置し、事前通行規制区間2箇所（黄金道路）と予防的通行規制区間1箇所（野塚峠）の安全を守るため職員12名（非常勤職員含む）で日々励んでいます。

通行規制区間

落石、崩壊、波浪、雪崩による被害が発生する恐れがある区間

⑫ えりも町目黒～広尾町音調津

規制基準：連続雨量150mm

迂回路：国道236号

⑬ 広尾町音調津～広尾町ツチウシ

規制基準：連続雨量120mm

迂回路：道道1071

予防的通行規制区間

暴風雪時における立ち往生車両の発生を防止する区間

◎広尾町野塚峠

道路の異状を発見した時は…



例えばこんな時



渋滞・通行規制情報は…

道路交通情報センター

※プッシュホンの#8011で管轄エリアのセンターに通じます

北海道地方・札幌方面情報	☎050-3369-6601
北海道地方・高速情報	☎050-3369-6760
函館方面情報	☎050-3369-6651
旭川方面情報	☎050-3369-6652
釧路方面情報	☎050-3369-6653
北見方面情報	☎050-3369-6654

JARTIC

公益財団法人日本道路交通情報センター



全国共通ダイヤル
ガイダンス番号による案内
050-3369-6666

今年度広尾道路事務所のシンボルであるイルミネーションを所長の自費で新しく更新しました。お近くにお越しの際には是非ご観覧ください。

インタビュー

広尾道路事務所 三浦所長

Q. 広尾道路事務所の良いところは何ですか？

A. 広尾町は海（太平洋）と山（日高山脈）に囲まれた自然豊かで景観の良い地域であるので気持ち良く仕事ができます。少人数体制の事務所ですが、少人数であるが故に何でも話せてみんなで協力して事象対応しているところが良いです。現在のメンバー最高です。



広尾道路事務所の機械たち

機械編



この機械は
年中使われて
いるんだね！

夏：草刈り



冬：歩道の除雪



夏は草刈車として使用し、冬は除雪車として使用します。従来は除雪車と草刈車の1台ずつ（専用車）必要でしたが、草刈車は草刈り時期しか使用せず除雪車は降雪期しか使用しないため草刈りと除雪を1台で行える機械（兼用車）があれば購入費用及び維持メンテナンス費用を縮減できるという発想の下、開発された機械です。

インタビュー

広尾道路事務所 機電係長

Q, 機械はどのように役立っていますか？

A, 夏は路面清掃車及び散水車で国道の清掃を行います。路面清掃車は掃除機のような構造で道路上の塵埃をブラシで掻き集め吸い取ります。散水車は路面清掃を行った後仕上げに水拭きをするようなイメージです。

冬は除雪トラック及びロータリ除雪車、小型除雪車、凍結防止剤散布車を使用し国道上に降り積もった雪の除雪を行います。除雪トラックは新設を前方のIプラウで路肩へ吹き飛ばします。ロータリ除雪車は路肩に堆積した雪をさらに遠くへ吹き飛ばすことができます。凍結防止剤散布車は路面が凍結しているときに凍結防止剤や砂を撒いて道路が滑らないようにしています。



おまけ

広尾道路事務所の良いところ
鹿がいる・ツルハが近い・
オーシャンビュー・
イルミネーション

工事現場見学会

令和5年度の工事現場って
どんな感じなの？

帯広開発建設部では、北海道開発事業に係る理解や技術力の向上を図ることを目的に、当部職員及び管内関係市町村職員を対象に工事現場見学会を開催しています。令和5年度は10月27日に行われ約40名が参加しました。

この工事現場見学会は平成22年度から開催されており、13年目の取り組みとなりました！



農業部門「新川二期地区 上統内排水機場基礎工事」



近年の降水形態等の変化による排水能力の低下に対し、**排水機場の更新**及び**排水路の整備**を行っています。

新排水機場の概要や本事業の必要性を聞き、実際に排水設備を見学してきました。

大雨時に農地側の水をくみ上げ**樋門**から排出することで湛水を防いでいます！



川の水を逆流させないための**樋門**

Q,排水機場の印象はどうでしたか？

用地課 村上 大河さん

A,思いのほか機械が大きく、壮観でした！また近くで機械を見ると年を感じ約40年前から稼働しているとのことで歴史を感じました。現在新しい排水施設の建設があるとのことで完成が待ち遠しいです。



クイズ①：昨年排水機場は何回稼働した？

河川部門「十勝川改修工事の内 大森第1樋門下流河道掘削外工事」

利別川において流下能力の向上を図るため河道掘削の実施、内水氾濫被害軽減のため**釜場**を新設しています！

釜場とは、排水ポンプ等を入れやすくし、効率的に水を排水させるための場所となっています。そのことから**釜場**は過去の実績から内水が溜まりやすい場所を選定し建設しています。

クイズ②：
堤防より市街地側に溜まる水を内水と呼ぶ、○？×？



釜場

ここに排水ポンプが設置されます！

ICT技術活用によるドローン

道路部門「北海道横断自動車道 陸別町 陸別改良工事」

ボックスカルバート

地中に埋設され、上は道路、下は水路や通路として使われています。



カルバートの中で事業の説明を聞き、外でできあがった様子をみました！

橋台



Q,現場見学会の感想をお聞かせください。

契約課 佐野 宏太さん

A,ボックスカルバートや橋台を初めて近くで見ると、迫力があり圧倒されました！そして高規格道路が整備されていく過程をカルバートの中と外で聞いて、貴重な体験をすることができました！



北海道横断自動車道の足寄～北見L=79kmの内、**陸別小利別～陸別IC**（仮称）L=20kmの新設を行っています！



クイズの答えは①1回（9月）、②○（川側は外水）でした！